

ひびき通信

平成 26 年
8 月版

こだわりの入浴セミナー 9月7日に開催 介助の基本の「き」を学びます

在宅サポートセンター生田主催の入浴セミナーが九月七日に開催されます。普通に入るための介助法を学びます。さい。受講料は三千元。実際にお湯を片マヒや車椅子を利用されている方でこの機会に生活リハビリ式入浴介助の張ったお風呂に入る実践セミナーです。

納涼

流しそうめん

暑さ吹き飛ばす

デイサービス響

デイサービス響の納涼流しそうめん大会が、このほどデイフロアで開催されました。フロア中央に設置された流しそうめん台の周りに陣取ったご利用者たちは、冷たい水と一緒に流れてくるそうめんを巧みな箸使いですくい上げては、暑さを忘れてそうめん舌鼓を打っていました。

ご利用者のリクエストにこたえ今年も開催しました

冷たい! うまい! おかわり!



夢中ですくっては食べるご利用者たち

昨年、夏ならではのイベントとして初めて開催した流しそうめん大会。ご利用者たちから「今年はいつやるの」と催促を受けるほど大好評だったこともあり、昨年に引き続き開催となりました。

茹でたてのそうめんを氷で冷



通報訓練にのぞむ職員

よし、みかんと一緒に流し始めると、ご利用者たちは、我を忘

「食中毒対策」について意見交換

グループホーム響で運営推進会議

家族や地元の方などが参加

グループホーム響の運営推進会議が、このほど同センターで開催されました。写真。会議では、はじめ

に管理者からご利用者の最近の状況の報告があったあと、「食中毒」をテーマに意見交換を行いました。家庭生活の中で食中毒を予防するポイントとして、保存や調理する際の注意点など

を確認しました。また、センターでの食中毒対策として、手洗いを徹底していること。まな板を食材に応じて分けること。こまめに布巾を変えることなどもあわせて報告しました。参加者からは、実際に食中毒になった時の話や、なま物を控えるなど具体的な予防策が出されるなど、活発に意見を交換しました。



隊員から講評を受ける職員たち



火災報知機を点検する隊員

グループホーム響
通報・避難
訓練

通報手順や避難誘導のポイントを確認

二階キッチンから出火を想定

れてそうめんすくいに夢中。すくっては食べ、すくっては食べる、さながら会場は「そうめんバトル」の様相に。普段は少食のご利用者も、この日ばかり

は山盛りのそうめんをペロリと平らげるなど、夏の暑さを吹き飛ばす、お腹いっぱい一日を過ごしました。

川崎市消防局立ち会いのもと、火災時の通報避難訓練がこのほど当センターで行われました。二階グループホームのキッチン付近から出火したとの想定で行われた訓練には、介護職員、看護師あわせて六人が参加。非常ベルが鳴ったのを受け、出火場所を確認し初期消火を行う職員や、消防署への通報を行う職員、また、ご利用者に声をかけ、避難を呼びかけ誘導する職員など、本番を想定した役割分担と段取りを確認しました。

訓練終了後には消防隊員から、通報から避難完了まで五分ほどかかったこと。実際の火災では、避難にさらに時間がかかること。チームの中で指示を出すリーダーを決めておくことなどの講評をいただきました。

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

発行日：2014年8月1日

発行所：日本ケア創造株式会社

発行者：岸 忠宏

住所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

デイサービス響
グループホーム響

居宅介護支援事業所 響
宅老所「ほっと生田」